

CAMPUS 八戸学院

vol.44

学校法人光星学院創立60周年記念

八戸学院出身プロ野球選手とふれあう会

特集

本を読むこと

学びの時間

八戸学院大学 健康医療学部 地域文化論



第4回

八戸学院フェスタ 絆

☆☆☆君とず-----つと仲間で☆☆☆



学校法人光星学院 創立60周年記念 八戸学院出身プロ野球選手とふれあう会

12月11日(日)美保野キャンパス八戸学院室内練習場にて

秋山 将吾 外野手(埼玉西武ライオンズ)
塩見 貴洋 投手(東北楽天ゴールデンイーグルス)
北條 史也 内野手(阪神タイガース)



八戸大学(現八戸学院大学)と光星学院高等学校(現八戸学院光星高等学校)卒業のプロ野球3選手を招き、法人創立60周年にちなみ八戸市内の小学生60名限定の野球教室が開かれました。ランニングストレッチから始まった野球教室。憧れのプロ野球選手を前に緊張気味の小学生へ3選手は、笑顔で話しかけ緊張をほぐします。グループに分かれての練習では、打撃や投球のコツを身振り、手振りを交え丁寧な指導が行われました。3選手による実技披露もあり、間近で見られる切れるボールや鋭い打球に歓声が上がりました。練習後には、抽選会やサイン会が行われ、長蛇の列ができました。

選手から小学生に対し「僕たちも頑張るので、皆さんも頑張ってください」とエールが送られました。



秋山将吾選手



塩見貴洋選手



北條史也選手

CONTENTS

- 2 読書のススメ
- 3 学校法人光星学院創立60周年記念
八戸学院出身プロ野球選手とふれあう会
- 4 特集
本を読むこと
- 6 学びの時間
八戸学院大学 健康医療学部 地域文化論
- 8 八戸学院 NEWS
- 14 イベント情報
- 15 職員ファイル
- 16 クラブ活動報告
- 17 同窓生の広場
- 18 理事長散策



「今日が人生最後の日だと思っ...」
(小澤竹俊 著/アスコム出版社)

東京行きの新幹線を利用する際、本や雑誌を購入して乗ることが多い。お気に入り「プレジデント」という雑誌だ。しかし、今回紹介する文庫本は八戸駅内の書店でみかけ、タイトルが気に入り衝動買いをした書籍である。ホスピス医である著者は、「一人でも多くの人が、生きていて良かったと思える最期を迎えられるように」と、力を尽くしている。1963年生まれの彼は、2800人を看取った経験から生と死について淡々と語りかけている。目次に連なる数々のメッセージは、読む前からすべてに共感するものであった。

行間のある構成は、老眼のある私には嬉しい限りで、仙台に着く頃には読み終えていた。K02研究室入って右側の本棚にありますのでどうぞ一読を!



羽入 雪子
八戸学院大学
看護学科 教授

CAMPUS 八戸学院

vol.44



表紙
11月に開催された「八戸学院フェスタ」のフィナーレ。園児・生徒・学生が仲間を信じ、共に歩むことを誓いました。

建学の精神 「神を敬し、人を愛する」

カトリックの精神に則る道徳教育を施し、高尚なる人格の完成を期し、現代社会が要請する有為の人材を育成することをもって目的とする。(寄付行為 第3条)



八戸学院大学・八戸学院短期大学図書館は「地域に開かれた大学図書館」として、地域住民の方も無料でご利用いただけます。

- 八戸学院大学 TEL 0178-25-2711
- 八戸学院短期大学 TEL 0178-25-4411
- 八戸学院大学・八戸学院短期大学
地域連携研究センター
TEL 0178-25-2789
- 八戸学院大学・八戸学院短期大学
図書館
TEL 0178-30-1695
- 八戸学院光星高等学校
TEL 0178-33-4151
- 八戸学院光星高等学校専攻科
TEL 0178-25-6322
- 八戸学院野辺地西高等学校
TEL 0175-64-4166
- 八戸学院短期大学附属幼稚園
TEL 0178-34-5765
- 八戸学院短期大学附属幼稚園
聖アンナ
TEL 0178-45-3670
- 八戸学院短期大学附属幼稚園
第二しのめ
TEL 0178-25-2488

<http://kosei.hachinohe-u.ac.jp/>

置いているよ!



本を読むこと

八戸学院大学・八戸学院短期大学図書館

■知識と教養を身につける読書

日本人は本を読まなくなると言われて久しくなっています。一ヶ月に本を二冊も読んでいない人の割合が年々高くなっているようです。大学生協連合会の大学生の読書時間についての調査でも、4割の学生が読書時間ゼロという結果が出ています。また、2016年11月の新聞各紙に経済協力開発機構(OECD)国際学習到達度調査(PISA)で、日本の子供たちの読解力が低下しているとの結果が掲載され、読解力の基礎となる語彙力が不足していると懸念されています。

語彙力が不足しているということは、一定量の文章に触れる機会、つまり読書量の不足により自分の中にインプットする量が少なくなっているということです。いくつがある原因のなかで、不況による本代の節約のほかに様々なことが電子化され、読書以外の娯楽が豊かになったことで、落ち着いて本を読むというより、スマホでSNSやゲームをするようになったことが挙げられると思います。

現実には、通勤電車内で文庫などの本を読んでいた光景が、本の代わりに片手にスマホという人が多くなりました。電子化や娯楽の多様化など読書をめぐる

外側の環境が変化し、読み物に対しての興味が薄れた感があります。

読書は社会的に良い習慣と見なされ、巷では読書術をはじめ、「読書」の必要性を説く本が多く出版されています。共通して書かれてあることは、個々のパーソナリティが重要視される時代になったことで、読書により語彙力、表現力を養い、「知識」と「教養」を身に付けて、人間力を向上させなければならぬと唱えています。

■本はコストパフォーマンスが高い

読書をしていない人は、「忙しくて時間がない」という理由や「本を読め」と言われても、押し付けられることへの抵抗感から読む気になれなかつたり、本を読むことからの楽しさを見い出すことがわからないと言っています。

しかし、本には成功者や過去の偉人、哲学者など優れた人の教えや知識が詰まっています。その成功者である著者が膨大な時間をかけて勉強してきたこと、経験してきたことが一冊の本としてまとめられ

■読書は自分への投資

読書をしていない人にとって本を読むことは苦痛なのかもしれません。スマホなどの普及により、自分の必要とする情報を手取り早く手軽に入手できるようになりました。しかし、これでは「知識」「教養」が身につかず、これから自分に降りかかる諸問題に対して思考力や新しい視点で物事を捉えることが、本を読む人に比べて乏しくなってしまうかもしれません。

厚労省が公表する2016年の人口動態統計年間推計で出生数が100万人を割りました。我が国では、人口が減少していくことを誰も経験したことがありません。今後、どんなことが起こるのか予測が難しくなった今、いかに生きるための「知識」「教養」を身につけて活用するかが課題です。人間は初めて経験することに不安や恐れを感じ、なかなか行動に移せません。未経験だからこそ、先人の知恵と経験から学ぶためにも読書は必要なのです。

これからの人生の先に起こる未知の難題に対するヒントは、多くの本に書かれています。その本から必要な情報を取捨選択することによって得た知識があれば、見えない将来の不安にも対処できるようになっていきます。読書でつけた知識や教養は自分自身への投資になるはずです。

■本に触れる環境

“Book deserts”という言葉があります。「本の砂漠」もしくは「読書砂漠」という意味で、本などの読み物に触れる機会が困難な環境のことを言います。世界中では本を読みたくても、まだまだ本を手にするのができない環境も多いのかもしれない。もともと人々に広く本に触れてもらいたいとの思いから“Book deserts”を解決するために様々な取り組みを行っている図書館が世界各地にあります。

米国ワシントン州のシアトル公共図書館では、図書館司書の方が各イベントに併せて厳選した図書を自転車で各会場に運び、貸出サービスをする「Books on Bikes」を実施したり、本の自動販売機を導入する地域もあります。日本の各図書館や書店でも、本の陳列を工夫したり、お茶を飲みながら読書ができる環境を整備したり、テーマに合わせた展示会や読書会、ビブリオバトルなど多様なコミュニティの要望に応じてイベントを開催しています。

八戸市では、「本のまち」構想の中核拠点として教養面から市民力を高めようと八戸市営書店「八戸ブックセンター」をオープンさせました。陳列された書籍は多種多様でさまざまな人の興味に十分応えるように選書されているほか、八戸学院大学の教員がすすめる本のコーナーなども設置されています。このように図書館や書店・出版界以外でも本とふれあう環境を増やしてくれています。これを機とした一冊の本との出会いが「読書」のきっかけになることを願います。

一冊の本との出会いを!

～読書案内コーナー～

本と触れ合う機会が少なかった学生や、何を讀んでいいのかわからないという学生に対して、図書館スタッフが選書した「読書法」や「本、読書を推奨する本」など読書に関わる書籍を100冊ほど集めて「読書案内コーナー」を館内入口付近に設置しています。多面陳列やPOPでのコミュニケーションにより、本を手取る学生が増えました。

八戸学院大学・八戸学院短期大学図書館

開館時間 月～木 8:40～19:00

金 8:40～20:00



読書案内コーナー

ています。それは、成功談だけでなく、苦痛や挫折なども書かれてあり、その本を読むことで著者の考え方や価値観、世界観、物事に幅広く触れることができます。それにより、視野が広がり、自分の知らない世界を知り、多角的な考え方ができるようになるでしょう。

今、私たちが当たり前のように使っている技術や知識が定着しているのは、多くの失敗を繰り返してきた経過が文献として残っているからです。

私たちは、著者の失敗経験を知ること、著者と同じ失敗をしなくて済んだり、様々なことへの取り組み時間が短縮されたり、死の危険から回避できていきます。このように私たちは本を読むことで多くのことを学び、人生という限られた時間の中では経験できないようなことを知ることができます。その成功者や偉人たちが何年も、何十年もの時間をかけて得た知識と経験が本屋さんで手に入れることができます。本を買うのは時間を買うのと同じで、コストパフォーマンスが非常に高いものだと思います。

学びの時間

八戸学院大学
健康医療学部

八戸を学ぶ ～地域文化論～

健康医療学部の必修科目でもある「地域文化論」は、地域に密着した人材育成を図るため、八戸を代表する文化人である榎谷伸夫氏を科目コーディネーターとしてお迎えし、①地域文化の歴史と特性、②地域発展に貢献した先人の事例、③地域活性化の現状と課題の解決策などについて、八戸の各分野でご活躍されている著名な方々をゲスト講師としてお招きし、貴重なお話をさせていただきました。なお、講義最終日には、大谷学長が全体のまとめとして「八戸市を輝かせる戦略思考」をテーマに講話し、開講初年度を締めくくりました。

八戸ってところは面白い！



科目コーディネーター
榎谷 伸夫 氏
・八戸市公民館 館長
・八戸童話会 会長
・演劇集団ごめ企画 代表

八戸生まれの学生でも地元のことは案外知らないものです。況や、八戸以外から来ている学生諸君は猶更です。そこで、これから過ごす4年間の足掛かりとして、この八戸のことをよく知ってもらおうということで、この「地域文化論」というユニークな講座が開設されました。まず、教室を八戸モードにしたいと思い、講義の初めに、「南部昔コ」を語ることにしました。高校時代、日本史を学んでいない学生が多く、また学んだとしても、八戸には殆ど触れられていません。ですから、できるだけ分かりやすい進め方に心をいただきました。

よく知られている項目は勿論ですが、「へ〜!!」と思うような項目もわざと入れました。歴史では「安藤きぬ女申状」「九戸政実の乱」、小説「かたづの」で話題になった「根城南部の遠野移封」「稗三合一揆」等々。文化の特性では「南部弁」の特別講義、先人では「美濃屋乙因」「櫛引弓人」「前原寅吉」などがそうです。

後半は、4人のゲスト講師に、ご自分の仕事を通しての、今の八戸を語っていただきました。

「八戸の未来に向けて」 [12/7]

現在行っている八戸市の取り組みとして、中核市への移行に向けた作業、またメディアで話題になったドクターカーの運行や八戸三社大祭のユネスコ無形文化遺産への登録などについて話され、さらに、八戸市の未来に向けて、屋内スケート場の整備や教育機能を持った美術館の建設など、中心街の発展を中心とした事業に取り組んでいることを紹介されました。

昨年12月にオープンした八戸ブックセンターについては、「本は人生を豊かにする」と本に対する熱い想いを話され、「本に触れるきっかけになれば」ということから事業に取り組んだと説明されました。



八戸市長
小林 眞 氏

「東北のあしたに貢献すること」 [12/14]

職場を活性化させるために心がけていることとして、1つ目に、TPOに合わせて「形(外見)」を整えることで内面に良い影響を与えるということ、2つ目には、「型」という基本があるからこそ応用があるのだと説明され、学生に基本(基礎)の大切さを話されました。また、「整理・整頓・清掃」を3Sとして、これらを徹底することにより社内外に良い影響を与えることができるとし、小さいことをいかに大切にしなければならないか話されました。

最後に、八戸市は、陸・海・空すべてのインフラが整った産業に適した地域で、今後、さらなる発展を遂げる可能性が高い地域であることを伝え講義を締めくくりました。



株式会社吉田産業 代表取締役社長
吉田 誠夫 氏

「若い力が未来を動かす」 [12/21]

地域活性とは、様々な地域の資源を活用して人が集まり、産業を営むことであるとし、単発ではなく持続することが大切であると話されました。次に、八戸市の産業発展の経緯が説明され、今後の展望として、八戸沖に次世代資源として期待されているメタンハイドレートが確認されたことによる新たな産業の可能性や、人材育成と少子化対策について指摘し、特に少子化問題では、近年人口の増加がみられるフランスの政策を例に上げ「少子化にもっと目を向けた政策を実施してほしい」という自身の想いを語られました。

最後に、「若い力が社会を変えるエネルギーになるので、講義については受け身ではなく、社会に目を向け自ら行動するようにしていくことで見方が変わってくる。そして経験を重ね引き出しを多く持つことが、卒業後の大きな力になる」と学生に熱く語りかけられました。



三三五流通株式会社 社長室長
高谷 勝義 氏

「先人に感謝し、縁を大切にする」 [11/30]

青森県三八地域県民局の活動から、三八地域の現状や地域課題について説明されました。地域課題を解決していくためには、人材育成が最も重要であり、そのために地域を知ってもらい、学ぶこと。大学というステージを活かし、物事を解決するためには情報を収集・分析して判断し、実行に移すことの繰り返しが必要であると話されました。またコミュニケーション能力とは、話し上手だけでなく、伝え上手・聞き上手であることだとし、「人」として大切なことを伝えていました。

最後には、「夢(目的)を達成するには意欲(信じる力)が必要であり、実力養成の場である大学で、ひとりの人間として地域・社会に貢献する人材を目指してください」と、大学生活で何をすべきか語りかけられました。



青森県三八地域県民局長
武田 志郎 氏

地連研 「第1回保育の学校」開催 [10/9]

美保野キャンパスを会場に、新たな試みとなる保育者対象の『第1回保育の学校』を開催しました。

本講座は短大幼児保育学科の小川准教授・差波講師が主として担当し、『自信と誇りを身に付ける保育者を目指して』をメインテーマに、全13講座を開講。「自分の保育を振り返る」「保育者の精神的安定を図り、子供と真摯に向き合う時間をつくる」「明日からの保育及び教育活動に対して意欲をもって取り組むことができる」「新たな知識・技術を身に付ける」などを目的に開催し、約60名が受講しました。



講座内容は座学のみならず、実際に体を動かす講座やヨガ体操、PCで園だよりを作成する講座なども開講されました。本学の教員6名も各講座を担当し、運営には短大生も多く参加して会場設営から当日の受付、講座のサポート、会場復元などを行いました。今後も継続的に行っていきたいと考えております。

講座内容は座学のみならず、実際に体を動かす講座やヨガ体操、PCで園だよりを作成する講座なども開講されました。本学の教員6名も各講座を担当し、運営には短大生も多く参加して会場設営から当日の受付、講座のサポート、会場復元などを行いました。今後も継続的に行っていきたいと考えております。



地連研 「第3回ビブリオバトルin八戸」 [11/6]
～田沢優さん(八戸学院大学ビジネス学部4年)が優勝～

デーリー東北新聞社と八戸学院大学の共催による知的書評合戦「第3回ビブリオバトルin八戸」は、高校生から一般までの3部門で予選会を勝ち抜いた発表者が決勝戦に進み、“全世代対決”で青森、岩手の「チャンプ本」を決定するというものです。「ビブリオバトル」とはお気に入りの本を持ち寄って紹介し合い、みんなで一番読みたくなった本を選ぶ書評会です。

デーリー東北新聞社メディアホールで開催された決勝戦では、特別ゲストとして『指の骨』で第46回新潮新人賞を受賞、芥川賞候補にも3度ノミネートされた作家の高橋弘希さん(十和田市生まれ)が出演し、講演のほか地元ゲストとのデモバトルにも参加されました。



青森、岩手両県から参加し、高校生、大学生、一般A、Bの各部門で予選を勝ち抜いた4人のファイナリストによる全世代対決、で田沢優さんの紹介した「100万回生きたねこ」(佐野洋子著)がチャンプ本に輝きました。昨年の八戸学院短期大学茂木典子教授に続き、2年連続で本学院関係者からチャンプ本が選ばれました。



短大 卒業生から学ぶ [12/8] ～看護学科卒業生講話～

看護学科では看護師として巣立った本学の卒業生を招き、毎年、「卒業生講話」を実施しています。今年度は八戸学院短期大学2年生を対象に「実習・就職に向けて」をテーマに開催しました。

講師には聖マリアナ医科大学病院の松田千夏さん(2期生)、国立病院機構八戸病棟の羽入智史さん(3期生)、八戸市立市民病院の加藤美鈴さん(5期生)の3名にご参加いただき、学生時代にしなければならないこと、看護師としての心構えなどについて、体験談を交えてお話していただきました。

出席した学生からは、「学習の留意点や学生生活の過ごし方、国試対策など、時間を有効に使うことが大切だと理解でき、今後への不安が軽減できました」、「実習では患者さんと接することの重要性、実習での行動や実施内容を振り返る良い機会になりました」、「実際に看護師として勤務している先輩方から話を聴くことで、今後、どのように過ごして、何を学ぶべきなのか、何を大切に生きていくべきなのか分かりました」など、今後の参考になったという意見が多数寄せられました。



第28回 八戸市景鑑賞
『まちなみ空間部門賞』受賞
美保野キャンパスのケヤキ並木・八戸学院短期大学幼児保育学科棟



正門から見たケヤキ並木。四季を通して様々な景色が楽しめます。



ケヤキ並木を抜けると見える短大幼児保育学科棟



八戸市景観賞授賞式にて[1/6]

選考理由

キャンパス内にまっすぐ続くケヤキ並木は、まるで緑のトンネルの様相を呈し、季節の移り変わりとともに様々な姿を見せ、通り行く人々を楽しませている。ケヤキ並木を抜けると姿を現す幼児保育学科棟は、敷地の高低差をうまく活かして、並木道からそのままアプローチできるようにエントランスが配置され、連続性のある空間が創られている。また、煉瓦積み風の外観は、ケヤキ並木や既存の校舎と調和し、一体感を感じさせる。

光星高 修学旅行 広島～京都～大阪 [11/14～11/18]

各地の文化、経済、産業を見聞して豊かな情操を育むことを目的として2年生355名で実施しました。一日目は、呉ミュージアムから厳島神社のある宮島までクルージング船で向かい広島で一泊しました。生徒たちは時間厳守、健康管理に気を配りながら、無事、全日程を終了できました。中でも特に印象に残ったのは広島平和記念公園で行われた平和セレモニーです。献花後の平和を願う生徒代表スピーチは、生徒一人ひとりの心に響くものでした。また、原爆慰霊碑に刻まれた「安らかに眠って下さい 過ちは繰返させぬから」という平和への願いの言葉を深く心に記しました。

この修学旅行を通じて生徒たちは、集団行動の意義を十分に理解し行動することができ、ひとまわり成長しました。友との語りいで深めた友情や、各地を見学して得た知識や経験を一生の思い出として、これからは活かして欲しいと思います。



光星高 文化活動 ～受賞しました～



平成28年度明るい選挙
啓発ポスター
最優秀賞
小西 彪太さん(鮫中出身)
入選
角 光希さん(三沢第二中出身)



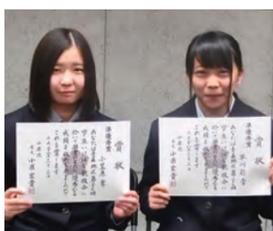
万引き防止標語
優秀賞
村井 美月さん
(堀口中出身)



第7回けんしんようエコ絵画
コンクール
優秀作品賞
富田 美咲さん(湊中出身)
優秀作品賞
石沢 栞さん(白銀中出身)



第7回
デーリー東北新聞
感想文コンクール
入選
大島 美紅さん
(百石中出身)



小原流学生いけばな競技会
準優秀賞
小笠原 舞さん(甲東中出身)
準優秀賞
早川 彩音さん(八戸東中出身)

専攻科 学生会の取り組み ～奉仕の心を育てる～

専攻科学生会は、行事の企画運営だけでなく、様々な取り組みを行っています。今年度は熊本地震義援金活動、ユニセフ募金活動、ペットボトルキャップの回収を行いました。

7月に実施した熊本地震義援金活動の義援金は、デーリー東北新聞社から日本赤十字社青森県支部を通じて熊本県に届けられました。12月に行ったユニセフ募金活動の募金は、えんぴつやノート、はしかの予防接種用ワクチン等に替えられ、世界150以上の国と地域に届けられています。また、ペットボトルキャップは常時回収協力をしており年度末に市内のシンフォニープラザ経由で、医療の行き届かない国に、ワクチンに替えられて届けられる予定です。



光星高 男子バスケットボール部初の全国大会へ
～ウインターカップ全国選抜大会に出場して～

私たち男子バスケットボール部は、昨年10月末に行われた全国高校選抜大会の県予選で優勝し、12月23日から東京体育館で開催された全国高校選抜大会に出場しました。

対戦相手は全国上位常連校の延岡学園高校です。試合序盤はメンバー全員が積極的にゴールを攻め、同点の場面もありました。しかし相手チームのアウトサイドが入り始め、最後まで必死に諦めず走り続け流れをつかもうとしましたが、前半につけられた点差を縮めることが出来ず、敗退してしまいました。

負けはしましたが、メンバー一人一人は全力をつくし、やりきったと思います。沢山の方々が会場に応援に来てくださり、その応援を力に全国の舞台でプレー出来たことはとても大きな体験でした。また様々な方々の支援により、夢のような時間を過ごせたことに感謝しています。

1、2年生の部員も全国を直に感じ、いい刺激になったはずです。またあの大会に立ち、勝利を手にしてほしいと、夢を後輩に託します。今後とも応援よろしくお祈りします。

男子バスケットボール部 主将 佐々木 匠(川内中出身)



野西高 『平成28年度 第3回青森県総合学科高等学校研究発表会』 [12/26]

第3回青森県総合学科高等学校研究発表会が青森大学にて行われました。

生徒発表は7校11グループあり、休憩を挟んで2部構成となっていた。本校からは、校内選考会で選ばれた3名の生徒が『街道と一里塚』というテーマで出場した。

今回の研究発表会から明確な審査基準ができた。審査員の得点上位2グループを選出し、討議により、総合的評価の高い方のグループをM I P (Most Impressive Presentation)とするのだ。

腰を据えて、順番に発表を見た。本校の生徒の発表もなかなかいいのでは？と思っていたのだが、上には上がいるものである。明瞭な発音、堂々とした態度、そして7分間の発表原稿を全て暗記しているのだ。これにはかなり驚いた。この日のために相当練習してきたのだろうと想像できた。完璧なプレゼンテーションである。

残念ながら本校の発表がM I Pに選ばれることはなかったが、大勢の人を前にして、自ら発表することや、他校の発表を見ることで得られるものは沢山あっただろう。今後の生徒の活躍に期待したい。



専攻科 老人福祉施設の訪問 [12/20]

八戸学院光星高等学校保育福祉科コース1年生24名と専攻科介護福祉科2年生23名が老人福祉施設を訪問しました。

介護実習やボランティア活動でお世話になっている施設において、日頃の学習の成果発表と感謝の気持ちを伝えることを目的に紙人形劇と手話コーラスを披露しました。

高校と専攻科合同での施設訪問は今回初めての企画でしたが、施設の方々からは手拍子やアンコールをもらうなど、楽しいひとときを過ごしました。このような活動を通して、学生のスキルアップに繋がっていききたいと思います。



附属 『桜プロジェクト』&『フリーブレイズの選手と交流』 [11/11]

大和ハウス工業様主催の「桜プロジェクト」のイベントでは、海外でも活躍されている双子の和楽器奏者AUNさんをお迎えして、和太鼓、篠笛、三味線の演奏を鑑賞しました。その後、園庭に3本のヤマザクラの苗木を「大きなあれ」と願いを込めて植樹しました。そして、午後はプロアイスホッケーチーム「東北フリーブレイズ」の選手5名と年長児が、ボックス体操やフロアホッケーで、交流を楽しみました。



附属 年少組の育ちを追って

様々な行事や体験を通して、落ち着きある生活ができるようになった年少組。文字に興味をもち集中して取り組んだり、役割分担をしてお当番活動も喜んで行っています。



聖アンナ ラピアに響く子どもたちの歌声 [12/23]
～短大生ハンドベルとのコラボレーション～

ラピアで八戸学院短期大学の中嶋ゼミ・ハンドベルサークルの演奏会がありました。ゼミとサークルの2チームが息のあった演奏と様々な奏法に、子どもも聞き入っていました。この日は祝日でしたがたくさんのお友達が集まり、中嶋ゼミの伴奏で「きよしこの夜」を歌いました。演奏会は午前と午後の2回行われ、クリスマスの曲を中心にハンドベルやハンドチャイムの音色がラピアホールに響いていました。



第二しのめ クリスマスケーキをつくろう [12/20]

食育活動の一環として園の畑で収穫した野菜を使って年4回、お料理会を実施しています。今年度最後のメニューはジャーマンポテト、じゃがいもとたまねぎのみそ汁、フランクフルト、おにぎり、そしてクリスマスが近いこともあり、メインは食パンを使用するクリスマスケーキです。食パンを切ってホイップクリームをぬり、様々な果物をはさんで自分たちだけのオリジナルケーキを作りました。

他にも、年中児は包丁を使ってバナナを切ったり、年長児はピーラーを使ってじゃがいもの皮をむいたり、切ったりと一年を通して学んだたくさんのお友達の力を活かしながら、友だちと楽しい時間を過ごしました。



クリスマス会
聖アンナ [12/17]

クリスマスを祝う会は、第一部、全園児による聖劇、第二部、各学年で、歌や合奏の発表、第三部では、年長児がキャンドルサービスをし、お祈りをします。聖アンナにとって、クリスマスを祝う会は、クリスマスの本当の意味を知るための、大切な行事です。そのため、クリスマスを迎える前に、様々な準備をします。一つは、りんごろうそくです。りんごろうそくのりんごは、幸せや喜びをあらわします。ろうそくは、夜を明るくして、イエス様をお迎えするためのものです。プレクリスマスから園内に飾り、クリスマスを祝う会では、年長児がキャンドルサービスで使用します。もう一つは、クッキーです。子ども達みんなで型をぬいて、飾りもつけます。できあがったクッキーは、ツリーに飾ったり、クリスマスを祝う会で、お土産として持ち帰ります。



附属 [12/11]

12月になると、園舎前のシンボルツリーにイルミネーションが点灯し、園内にはツリーやリースが飾られ、クリスマス一色となります。そんな雰囲気の中で練習してきたお遊戯や歌を、スポットライトに照らされた八戸公会堂文化ホールの大きなステージで発表しました。初めてのステージにも臆せず楽しく踊る年少児や満3歳児、曲の楽しさをユーモラスに表現する年中児、そして、曲想を捉えた踊りと立派な挨拶やプログラム紹介をする年長児の発表に、会場内はたくさんの歓声と拍手に包まれました。また、光星高校チアリーディング部の迫力満点の演技が、子どもたちの意欲を掻き立て、会場の雰囲気を盛り上げ、楽しいお遊戯会となりました。



第二しのめ [12/11]



のびのびと一人ひとりの豊かな表現で発表することができ、おうちの方々からあたたかい声援と拍手をいただき、会場が盛り上がりました。舞踊劇の部では、各年齢それぞれ子どもたちに親しみのある童話や昔話を取り入れ、クラスごとに成長が見られるものとなりました。待ち時間には大きなスクリーンで子どもたちの園活動を紹介し、保護者の方々から大好評でした。

ONとOFFの切り替えを

両親が共働きで、少し年の離れた妹の面倒をよく見ていました。中学の夏休みに参加した職場体験で幼稚園の現場を体験し興味を持つようになり、高校3年の時に進路の先生の薦めで幼稚園教諭の道へ進むことを決めました。地元進学も考えましたが、親元を離れ勉強したいという思いから八戸短期大学(現八戸学院短期大学)に進学しました。

学生時代は、授業の空き時間を利用して勉強やピアノの練習をしていました。元々、一つの場所で何時間も同じことをするのが苦手だったので、ピアノの練習など短時間でも空いた時間を利用して数をこなすよう心がけました。短大では、幼稚園教諭として必要なスキルはもちろんですが、流れや順番を考えながら授業を組み立てる力が養われたと教員になってから実感しました。

幼稚園教諭9年目を迎えますが、楽しむ時とちゃんと向き合わなければならない時のONとOFFの切り替えを意識しています。表情や話し方、声のトーンなどメリハリをつけることで、子どもたちに伝わるよう心掛けています。子どものちょっとした表情やしぐさから気持ちを素早く感じ取れる先生になりたいですね。



担任の年長にじ組の子どもたち

職員 ファイル

⑧



成澤 友信

八戸学院短期大学附属幼稚園 教諭

宮城県登米市出身
八戸短期大学幼児保育学科 卒業
2008年4月より八戸学院附属幼稚園勤務

《卒業(園)式・入学(園)式》

【卒業式】	
光星高等学校	3/1(水)
野辺地西高等学校	3/3(金)
光星高等学校専攻科	3/13(月)
八戸学院大学・八戸学院短期大学	3/16(木)
【卒園式】	
附属幼稚園第二しのめ	3/11(土)
附属幼稚園聖アンナ	3/12(日)
附属幼稚園	3/15(水)
【入学式】	
八戸学院大学・八戸学院短期大学	4/5(水)
光星高等学校	4/7(金)
野辺地西高等学校	4/8(土)
光星高等学校専攻科	4/10(月)
【入園式】	
附属幼稚園	4/8(土)
附属幼稚園聖アンナ	4/8(土)
附属幼稚園第二しのめ	4/8(土)

《イベント情報》

八戸学院短期大学附属幼稚園

【星の子キッズクラブ】登録制	
・プレスクール(満2歳児になるお子さん)	9:00~11:30
火曜日コース	2/21、2/28
金曜日コース	2/17、2/24
・ステラクラス(1歳後半~入園前のお子さん)	10:00受付
水・木合同	2/15、2/23(閉講式)
【一日入園】	
2/18(土)	10:00~11:30

八戸学院短期大学附属幼稚園聖アンナ

【ベビーマッサージ教室】予約制 10:00~11:00	
・7~11か月	2/24(金)
【一日入園】 2/18(土)	

八戸学院短期大学附属幼稚園第二しのめ

【ポケット広場】	
2/15(水) 事前申込不要	10:00~12:00
【土曜ポケット広場】	
2/4(土) 事前申込不要	10:00~12:00
【一日入園】 2/25(土) 9:30受付	

《願書受付情報》

八戸学院大学

【ビジネス学科/人間健康学科】	
・AO入試⑥	1/5(木)~2/28(火)
・一般入試(後期)	2/21(火)~3/9(木)
・センター利用C	3/1(水)~3/15(水)
【看護学科】	
・一般入試(後期)	2/21(火)~3/9(木)
・センター利用C	3/1(水)~3/15(水)

八戸学院短期大学

【幼児保育学科】	
・一般入試(Ⅱ期)	2/21(火)~3/9(木)
・センター利用	3/1(水)~3/15(水)
【ライフデザイン学科】	
・一般入試(第Ⅱ期)	2/21(火)~3/9(木)
・センター利用C	3/1(水)~3/15(水)
・AO入試	1/5(木)~2/28(火)

光星高等学校

【普通科/保育福祉科/ビジネス科/工業技術科】	
・二次入試	3/14(火)~3/17(金)

光星高等学校専攻科

【自動車科/介護福祉科】	
・推薦(Ⅲ期)	12/1(木)~3/3(金)
・一般入試(Ⅲ期)	12/1(木)~3/3(金)



3/11(土) 10:00~13:00

学科紹介・体験授業、キャンパスツアー
個別相談、在学生フリートーク 他

オープンキャンパスの詳細は、下記にお問い合わせください。
八戸学院大学・八戸学院短期大学 キャリア支援課
TEL 0178-30-1700



同窓生の
の広場

INTERVIEW

八戸から世界へ！

正直申し上げて昔から自分は、周りの倍勉強してようやく追いつくのだと自覚しておりました。その一方、閉じこもって長時間一つの事に集中することが得意で、高校時代はピアノをずっと弾いていた記憶があります。自分の人生の最大の転機である高校時代、目指していた大学に無事合格したにも関わらず高校生なりにこのまま進学しても真の目標には近づけないと感じたので、担任と相談し直前ギリギリで進路変更をしました。大学だけでなく将来に対しても真摯に向き合ってくれた高校の先生方には今でも感謝しております。

その後、学生時代に書いた一本の論文がドイツ人学者の目にとまり「一緒に研究してみないか」とお誘いを頂きました。現在は、かの有名なアインシュタインも所属していた研究所で、高校時代から挑戦し続けてきた音楽と脳の研究に取り組んでいます。本プロジェクトが終わると、今後はアメリカへ、その後フランスへ渡る予定です。ドイツやノルウェーで学生も受け持っており研究との両立は中々大変ではありますが、高校時代に学んできた最も基本的な人間との付き合いというものを大切に仕事をして参りたいと思っております。そしていつかこの技術や知識を活かして、八戸を大きな研究都市にしていけたら幸いです。

私の研究内容を端的に申しますと、音楽は世の中に普遍的な現象なのか、または人の脳が認識してはじめて音楽が発生するのかというものです。「鶏と卵どちらが先か」を説明するようなもので、死ぬまで解明できないかもしれません。研究は決して楽ではありませんし、孤独なことが多い仕事と感ずります。それでも、世界で一番最初に何かを発見した時の喜びは、それらを全て帳消しにしてくれます。そして普段孤独だからこそ、稀に起こる人との出会いの有り難みを強く感じています。

【後輩へ贈る言葉】

私はよく学生さんに「真面目になれ」と言います。これは社会的に好かれる人、厳格な人になれということではありません。真面目に自分と向き合えということです。脳研究からも才能と成功は殆ど無関係と考えられます。努力した時間が長い順に成功する確率が上がります。一卒業生として、真面目に自分の人生と向き合っていく後輩達を心から応援しています。



オックスフォード大学



オックスフォード大学での演奏活動



大黒 達也氏

Tatsuya Daikoku

マックス・プランク研究所

プロフィール

光星学院高等学校(現八戸学院光星高等学校)普通科進学1コース平成17年3月卒業。

医学博士、東京大学医学部・医学系研究科客員研究員、英オックスフォード大学博士研究員を経て、現在、ドイツのマックス・プランク研究所にて勤務、専門は脳・神経科学、マルコフモデルを用いた聴覚潜在学習メカニズム解明の第一人者として知られる。英語著書、論文、医学教材など多数出版。

NEWS & BLOG



New integrated TMS-EEG system installed at University of Oxford

オックスフォード大学でのプロジェクトで使用した実験、手法がイギリスのニュースで紹介された

がんばる！クラブ活動

～平成28年度キラリ輝いた活動を紹介します～

八戸学院大学

自転車競技部

文部科学大臣杯第72回全日本大学対抗選手権自転車競技大会
スプリント 優勝 **清水 知美**(ビジネス学部3年)



スピードスケート部

第28回ユニバシアード冬季競技大会出場!
5000m 第5位 / 3000m 第8位 **古庄 亜衣**(健康医療学部3年)

光星高等学校

男子バスケットボール部

第47回全国高校選抜優勝大会 出場(悲願の全国大会初出場!)

チアリーディング部

第11回東北選手権大会 優勝



女子柔道部

第39回全国高等学校柔道選手権大会出場決定!
平成29年3月19日(日) 個人戦 / 20日(月) 団体戦
会場:日本武道館

野辺地西高等学校

空手部

平成28年度青森県高等学校体育連盟
空手道部秋大会兼第30回東北選抜高等学校空手道選抜大会青森予選会
女子組み手 優勝 **石田 ひらり**(三沢第一中出身)



レスリング部

第62回東北高等学校レスリング選手権大会
女子49kg級フリースタイル 優勝 **高田 さのえ**(青森山田中出身)
女子70kg級フリースタイル 優勝 **鈴木 萌愛**(東北中出身)





法宮新一
Shinichi Hogan

2017年を迎えて



明

けましておめでとうござい
ます。

まず皆様におかれましては、恙無
く新しい年2017年をお迎えになつ
たこととお慶び申し上げます。

1月5日、本学院の教職員が一堂
に会した新年会には、ご来賓並びに
外郭団体の皆様、そして今年は中核
市となった八戸市の小林眞市長さん
にも特別にご出席をいただいで賑や

ると、きっかけは、社会人になってか
ら英語のスキル向上のために休暇を
取って参加したが、現在は、ここに生
き甲斐を感じスタッフとして留学生の
面倒を見ているという。日本、韓国、
中国、ロシアなど国籍も様々に混じり
合いこの一角は国際都市を思わせる
キャンパスであった。

翌日、本題の福祉事業に関する視
察で現地の病院を訪問した。C・アレ
ナス院長夫妻はじめ関係者との意見
交換では、フィリピン側では看護師介
護士4000人リストを保有してお
り、日本での福祉事業に対する援助
も可能という即答である。受け入れ
側としての対応如何という印象で
あった。実現には種々の課題も多く研
究の余地がある。

病院から寄宿舎までの帰路、巨大
ショッピングモールに立ち寄った。中に
入ると、周辺の町並みとは似つかない
別世界にびつくり仰天でした。

フィリピンは人口一億三千万と聞
き、しかも若年層が多く人口動態は
理想的な推移と聞くに及びこれから
経済成長が期待できるということを

かにお祝いできましたこと、心から感
謝申し上げます。

申年から西年になりましたが、私
たちは昨年「変革」の年と位置づけ
て、幼稚園から大学までの教育体制の
見直しをして参りましたが、今年は
そうした懸案事項も一段落する年と
考えております。

新年度から短期大学は八戸学院大
学短期大学部としてスタートします。
大学ビジネス学部 of 将来、短期大学部
のライフデザイン学科や高校専攻科に
ついても検討中ですが、近々新たな方
向も打ち出されるものと思っております。
併せて、認定ことも園の件につ
いても今年中に具体的な方向も示さ
れると思えます。

本法人将来構想推進戦略会議にお
ける懸案の検討は終えることになり
ますが、同時に今後は教育の中身へと
議論が展開していくことになりま
す。つまり、教育の「質の保証」とい
うテーマを掲げ自身の充実に努めてい
けるよう期待します。

大学教育における質的転換を図る
理解した。同時に、タガログ語という
より英語圏にあるという実感がし
て、世界におけるフィリピンの発展を
予想した。

半袖の世界から帰国して一転、雪
景色の生活に戻り、世界の距離が短
くなったことも改めて感
じ、フィリピンの片田舎で
理想に燃えて頑張ってい
るI氏やN氏の意気込み
を感じ、語学教育と国際
教育を考えさせられる視
察であった。

さて、法人60周年記念
事業も順調に進んでお
り、本年はその集大成の
年になります。

60年を振り返ります
と、学院の今日は、これま
での全ての教職員のご尽
力とご支援くださった皆
様のお力によるわけで、こ
こに改めて敬意を表しま
すとともに、教職員皆さ
んの力の結集によって、周

ためには、基本的には、学ぶ立場の学
生・生徒一人ひとりが確実に実力を
つける、いわば能動的学習効果を高め
るために、学び・知識・活用といった
深化を期待しアクティブラーニングの
展開が必要と考えます。コミュニケー
ション能力と併せて力を入れていくこ
とが大事と考えます。

昨年のことになりますが、福祉事
業について種々情報を収集している
ときに、フィリピン視察の誘いがあま
した。留学生受け入れもなかなか具
体化できない状況下であって、思い
切って視察を試みることにしまし
た。

1月15日から18日までの期間で、現
地視察は1日半程度の短い時間であ
りましたが、マニラから車で3時間ほ
ど離れたサンマニエル市を訪問しま
した。マンガウ畑の果樹園に囲まれた
CNE1という語学学校のキャンパス
内寄宿舎に2泊お世話になり、フィリ
ピンの状況を垣間見ることが出来ま
した。

年行事を成功させ、共に祝いしたい
と思っております。

これからも本学院の教育事業に尚
一層ご尽力いただきますようお願いい
申し上げ、新年のご挨拶に致します。



語学学校CNE1



HACHIGAKU history

～高等学校～



八戸学院光星高等学校(旧光星学院高等学校)

昭和31年～ 卒業生数23,244名



八戸学院光星高等学校専攻科(旧光星学院高等学校専攻科)

昭和49年～ 卒業生数2,292名



八戸学院野辺地西高等学校(野辺地工業高校～旧野辺地西高等学校)

昭和54年～ 卒業生数8,987名



法人創立60周年

記念式典・祝賀会

平成29年11月12日(日)

式典: 八戸市公会堂

祝賀会: 八戸プラザホテルアーバンホール

記念ミュージカル

平成29年11月8日(水)

八戸市公会堂



野辺地工学専門学校

昭和54年～平成21年 卒業生数928名